

## 専門医認定委員会

委員長：中塚 貴志

担当理事：内沼 栄樹

委員：相原 正記、井砂 司、今井 啓介、岩澤 幹直、大久保文雄、  
大西 清、垣淵 正男、岸邊 美幸、木股 敬裕、木村 中、  
多久嶋亮彦、田中 克己、松村 一、三鍋 俊春、宮坂 宗男、  
宮脇 剛司、四ツ柳高敏

開催年月日：①平成 23 年 10 月 7 日

②平成 23 年 11 月 26・27 日

③平成 24 年 1 月 26・27・28 日

主な議題：1. 専門医申請者の資格審査  
2. 専門医認定審査  
3. 審査法の検討  
4. 研修手帳の作成

活動の概要：1. 平成 23 年度の専門医申請者 188 人に対し、平成 23 年 11 月 26・27 日に新宿ワシントンホテルにて提出書類による資格審査を行った。

2. 今回、資格審査において書類不備（日付記載ミス、術後画像・術中写真・術前画像の不足など）が目立ち、書類再提出依頼は 107 人に及んだ。資格審査で不合格、書類不備がありと判断された申請者からの弁明、書類追加に対してメール委員会を開き審査した。その結果、資格審査による不合格は 7 人となり、181 人が筆記試験の受験資格を得ることとなった。

3. 資格審査合格者 181 人に対し、平成 24 年 1 月 26・27・28 日にホテルニューオータニにて筆記試験および口頭試問による審査を行った。

4. 専門医審査申請者：188 人  
資格（書類）審査不合格者：7 人  
筆記・口頭試問不合格者：30 人  
欠席者：2 人  
専門医試験合格者：149 人  
合格率：80.1%（149/186）

5. 筆記試験問題の一部を問題集から改変し出題した。医療問題は前年同様 1 問出題した。また、記述式問題を 1 問出題し、採点には加えないが、口頭試問の際の参考とした。

6. 今回の専門医審査で、マイナー症例の定義が曖昧である、疾患の項目分類も不明確な点がある、術中写真の定義が曖昧である点などが問題として挙げられた。これらは今後学会 HP 上に Q&A の形でできるだけ具体的に掲載して学会員に周知させるのが良いとの意見になった。

7. なお、筆記試験が A ランクでも基本的臨床知識に欠ける受験生がいることが報告され、10 症例の提出書類を含めどのように総合評価するのか評価基準の再考が必要と思われた。この点に関しては、今井委員を委員長とする小委員会を立ち上げ、検討することとなった。

8. 専門医認定機構の勧告を受け、学会として「研修手帳」を作成することが提案され、本委員会内に「研修手帳作成」部会を設けるよう理事会から要請されたので、多久嶋委員を委員長として同部会を立ち上げた。